

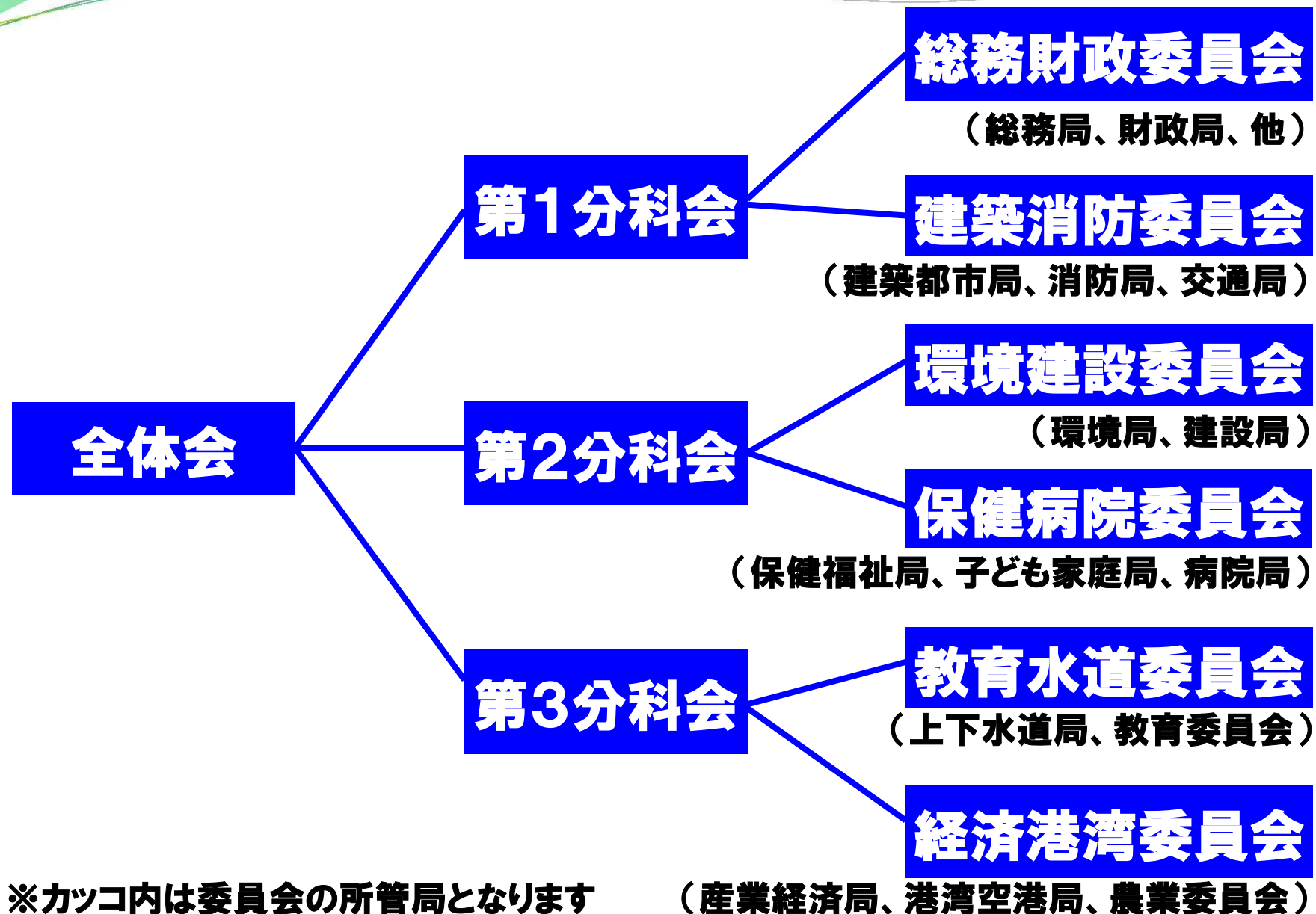


北九州市議会

第8回

議会報告会

決算特別委員会の構成



決算特別委員会 役職者

委員長：荒川 徹

副委員長：村上 幸一

第1分科会

主査：白石 一裕

副主査：西田 一

第2分科会

主査：本田 忠弘

副主査：長野 敏彦

第3分科会

主査：藤沢 加代

副主査：木下 幸子



第8回議会報告会 プログラム

1. 平成27年度決算の概要(荒川徹)
2. 第1分科会審査報告(白石一裕・西田一)
3. 第2分科会審査報告(本田忠弘・長野敏彦)
4. 第3分科会審査報告(藤沢加代・木下幸子)
5. 質疑応答
6. 意見聴取



平成27年度決算特別委員会

決算の概要報告

報告者：荒川 徹



○歳入・歳出について

（市税・地方交付税等）

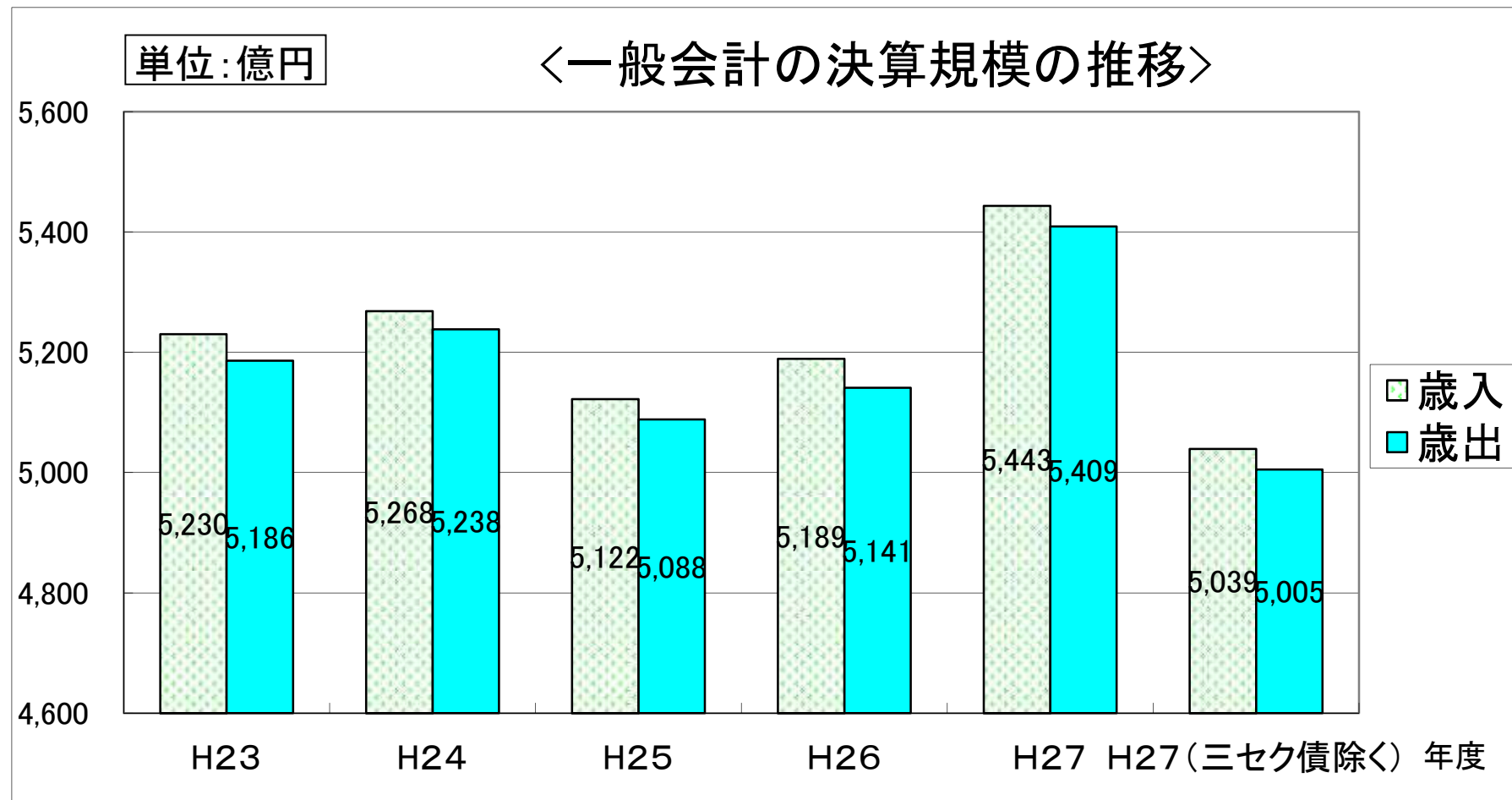
○市債発行額と残高について

○投資的経費と義務的経費について

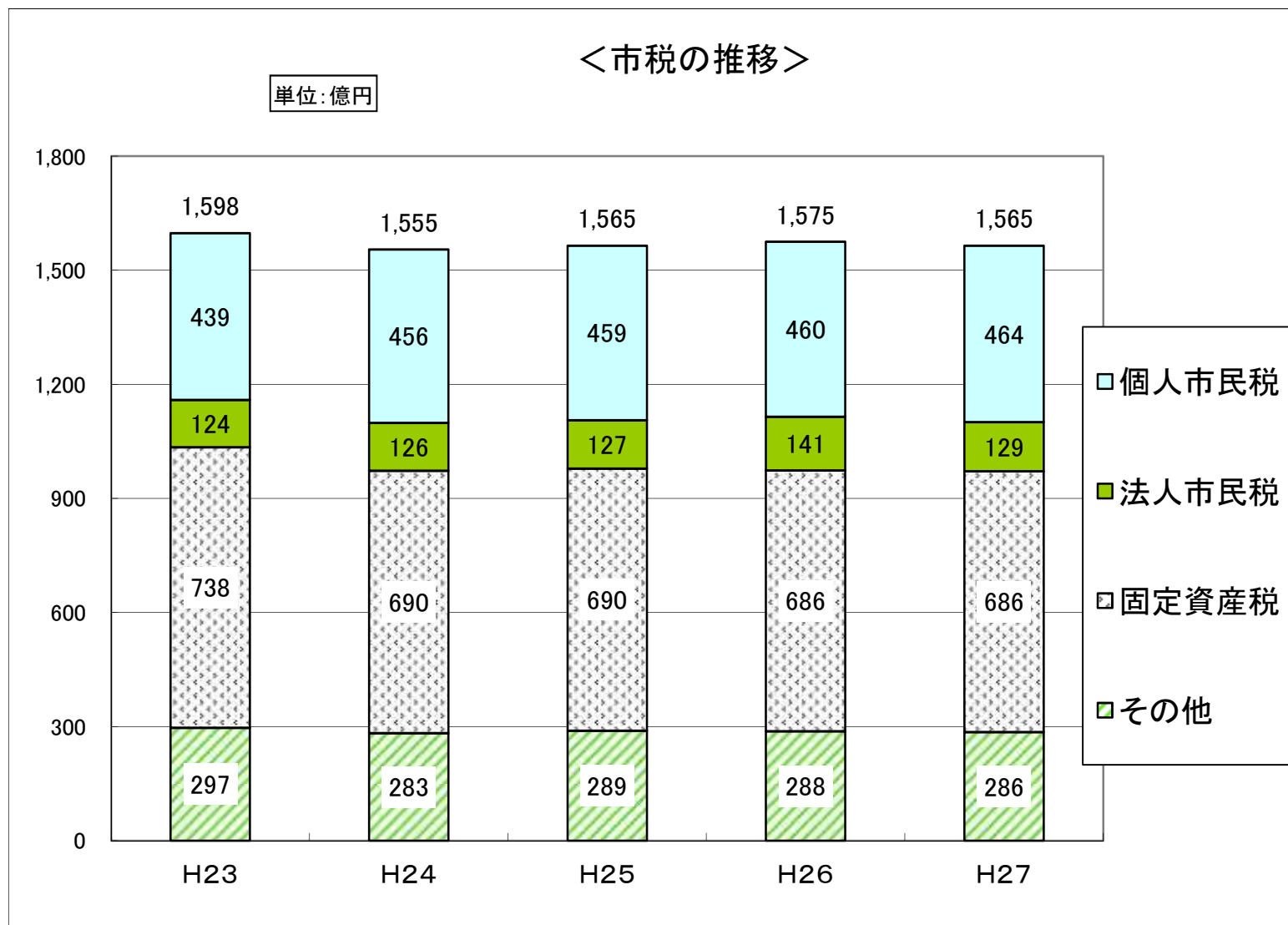
○基金について

○特別会計と企業会計について

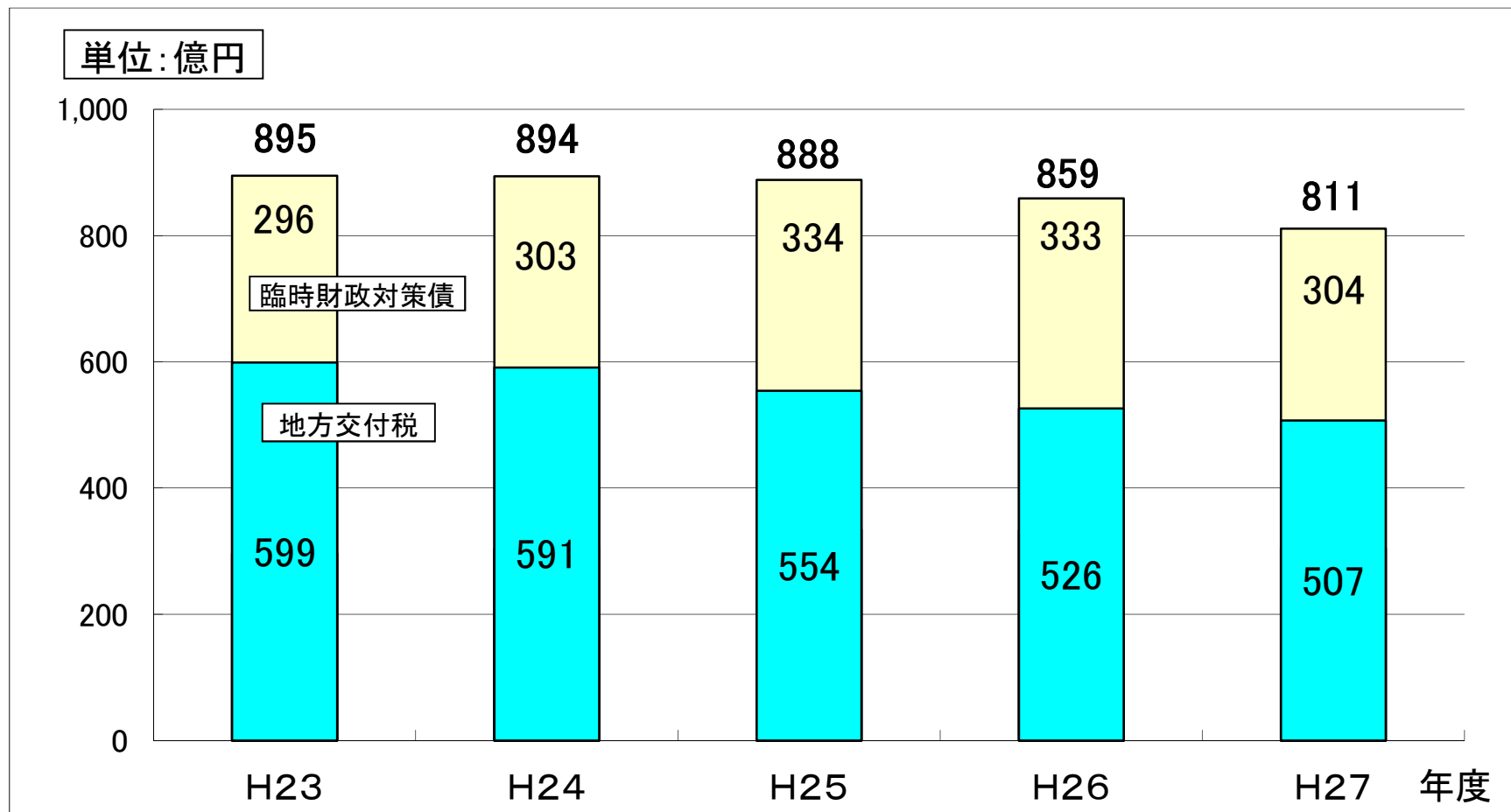
歳入・歳出について



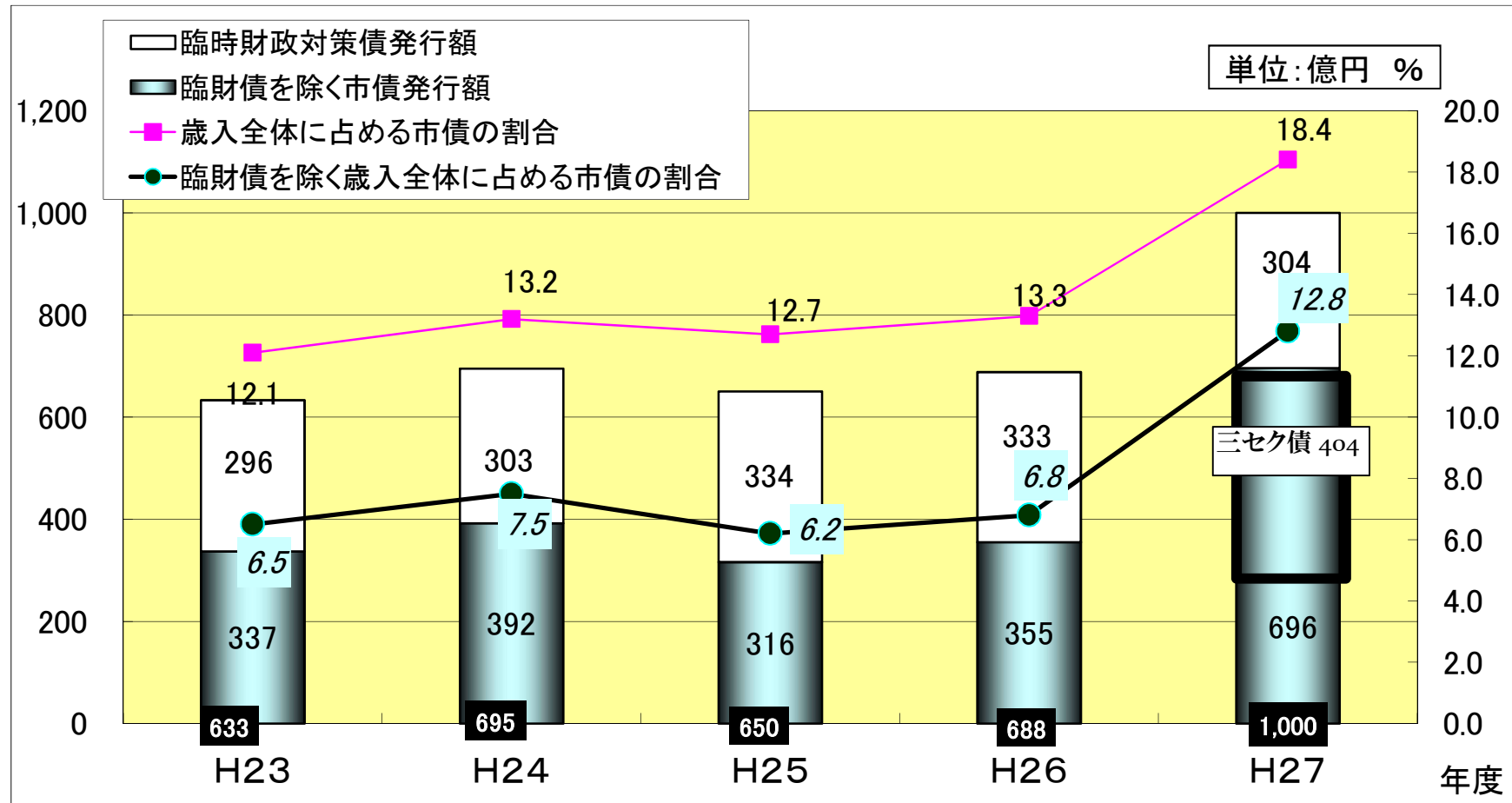
歳入・市税について



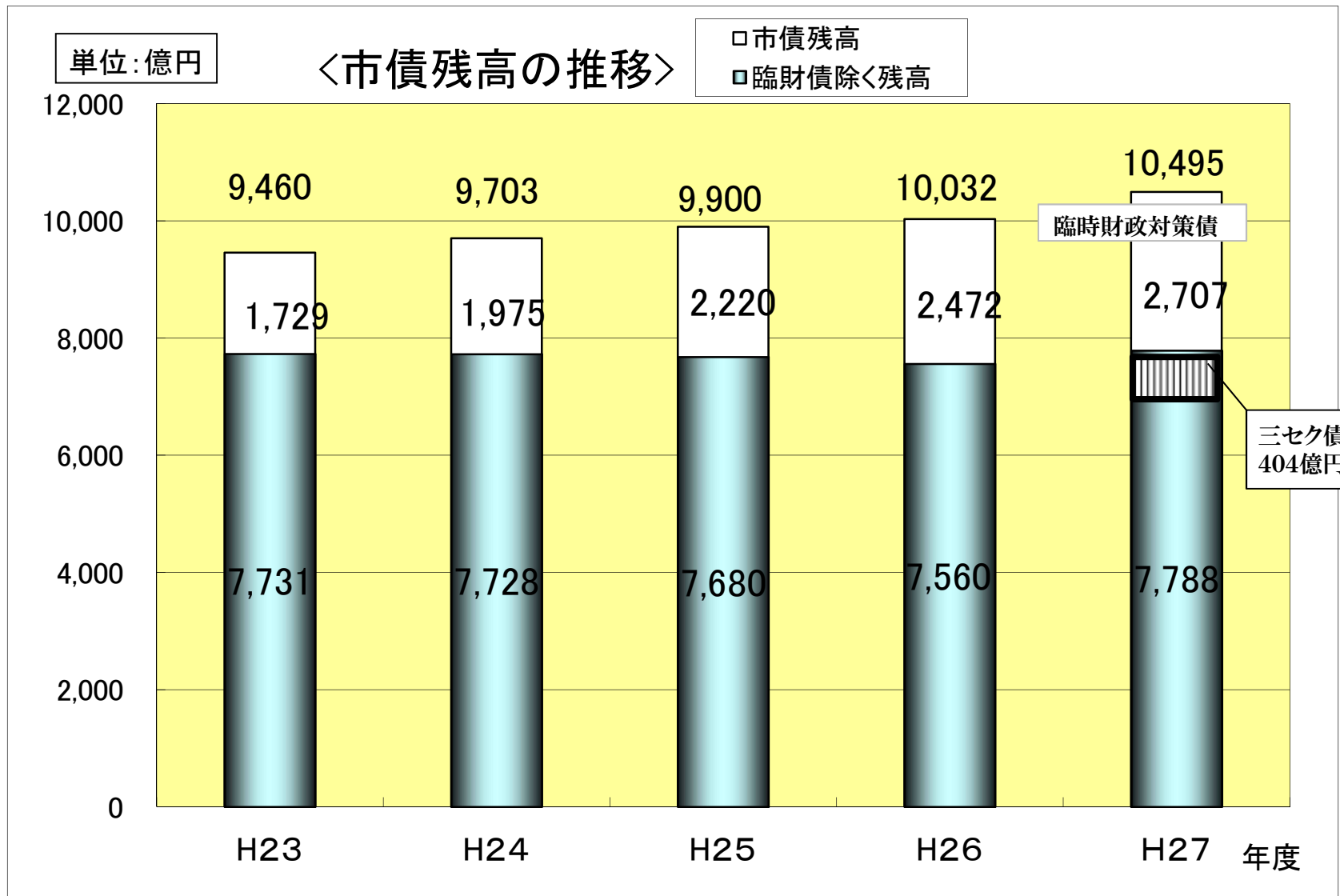
地方交付税等の推移



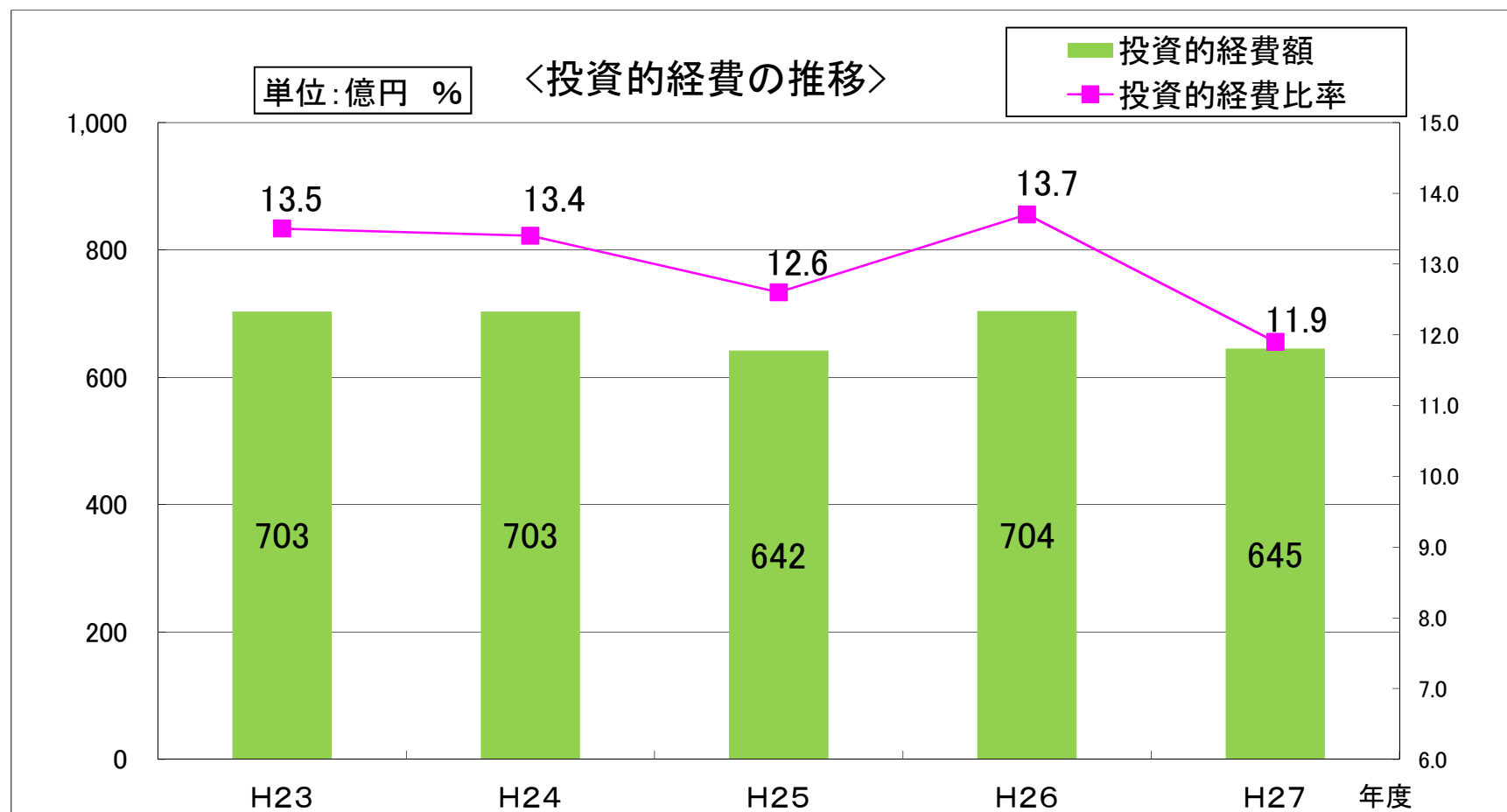
市債発行額の推移



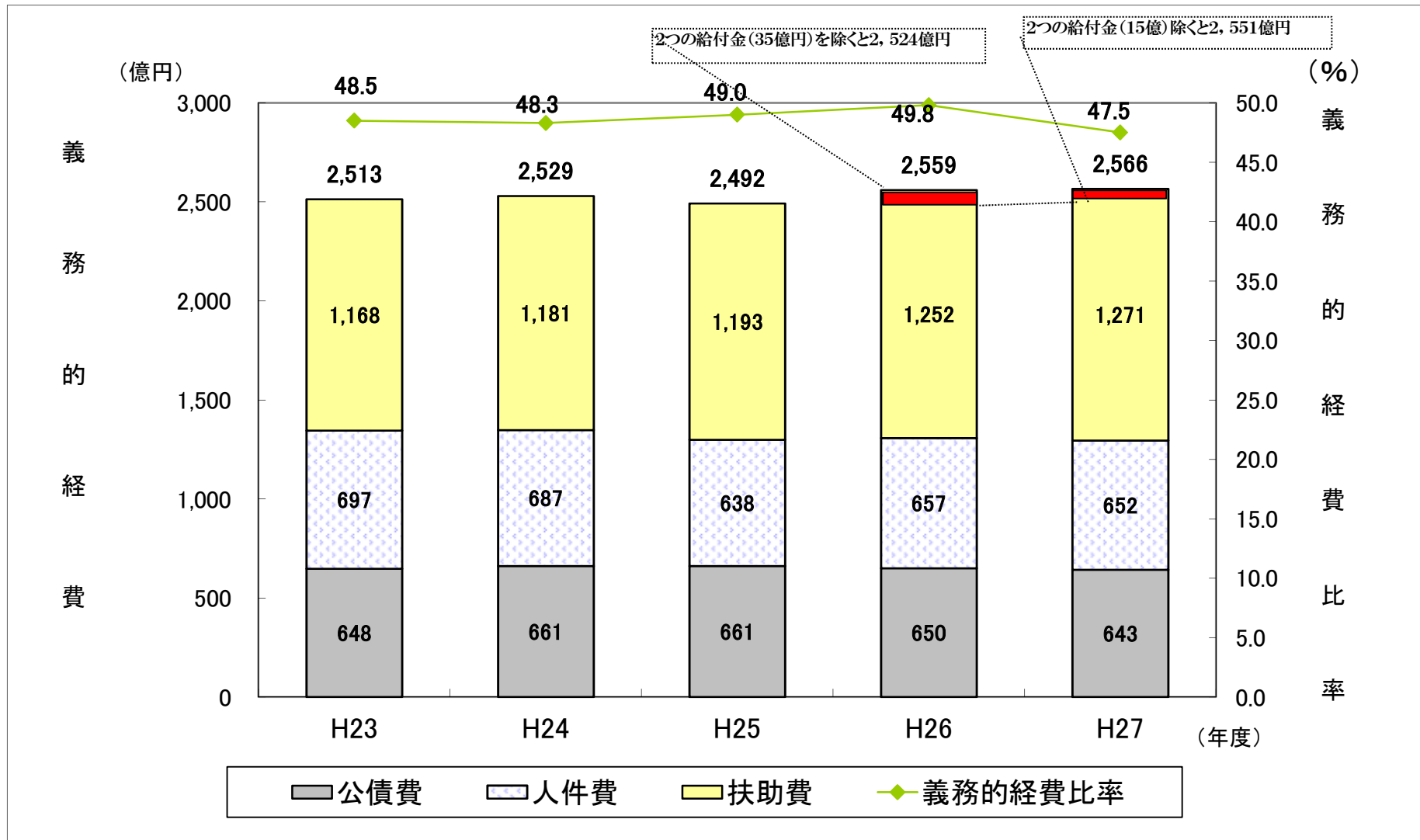
市債残高について



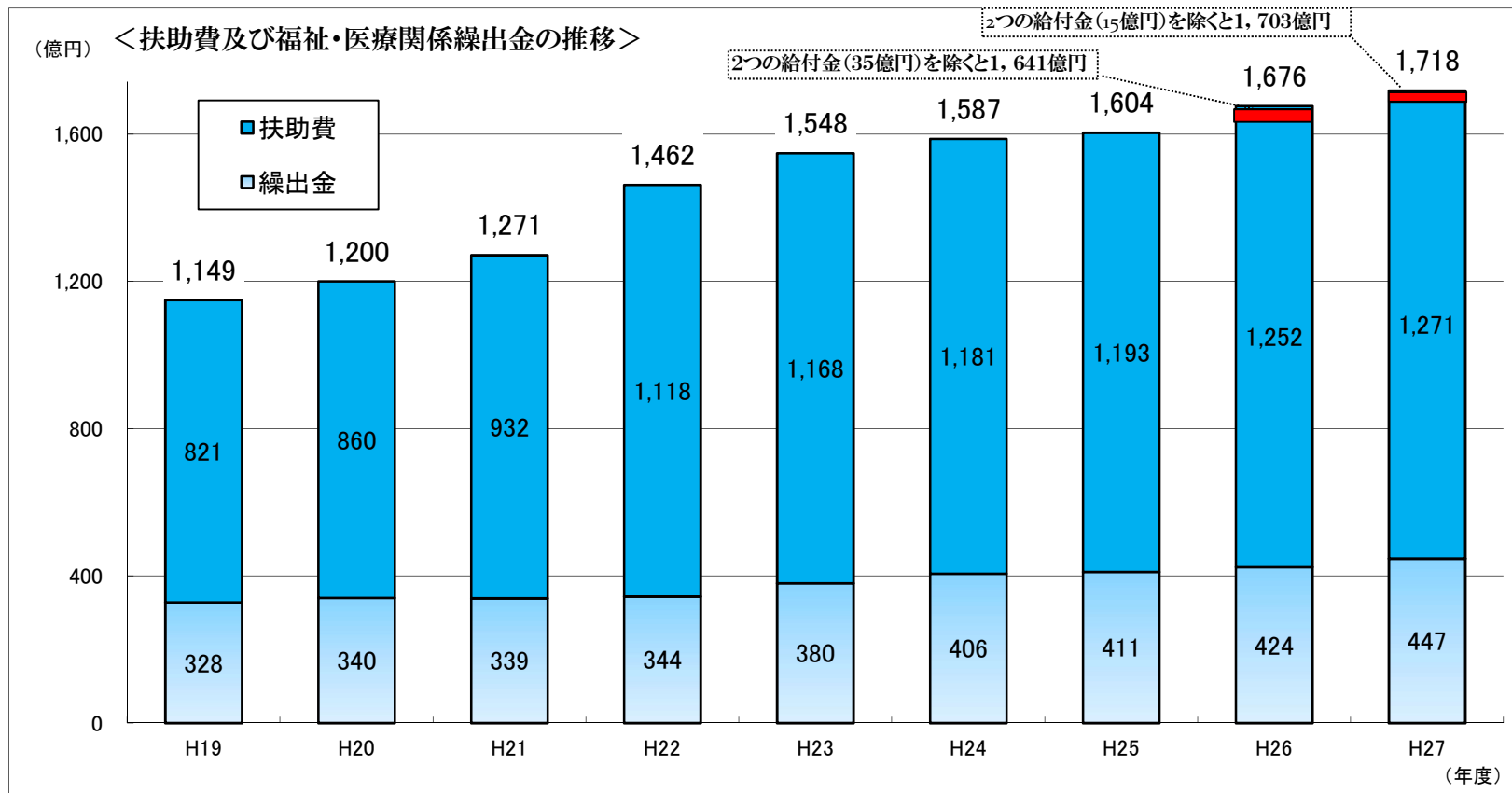
投資的経費の推移



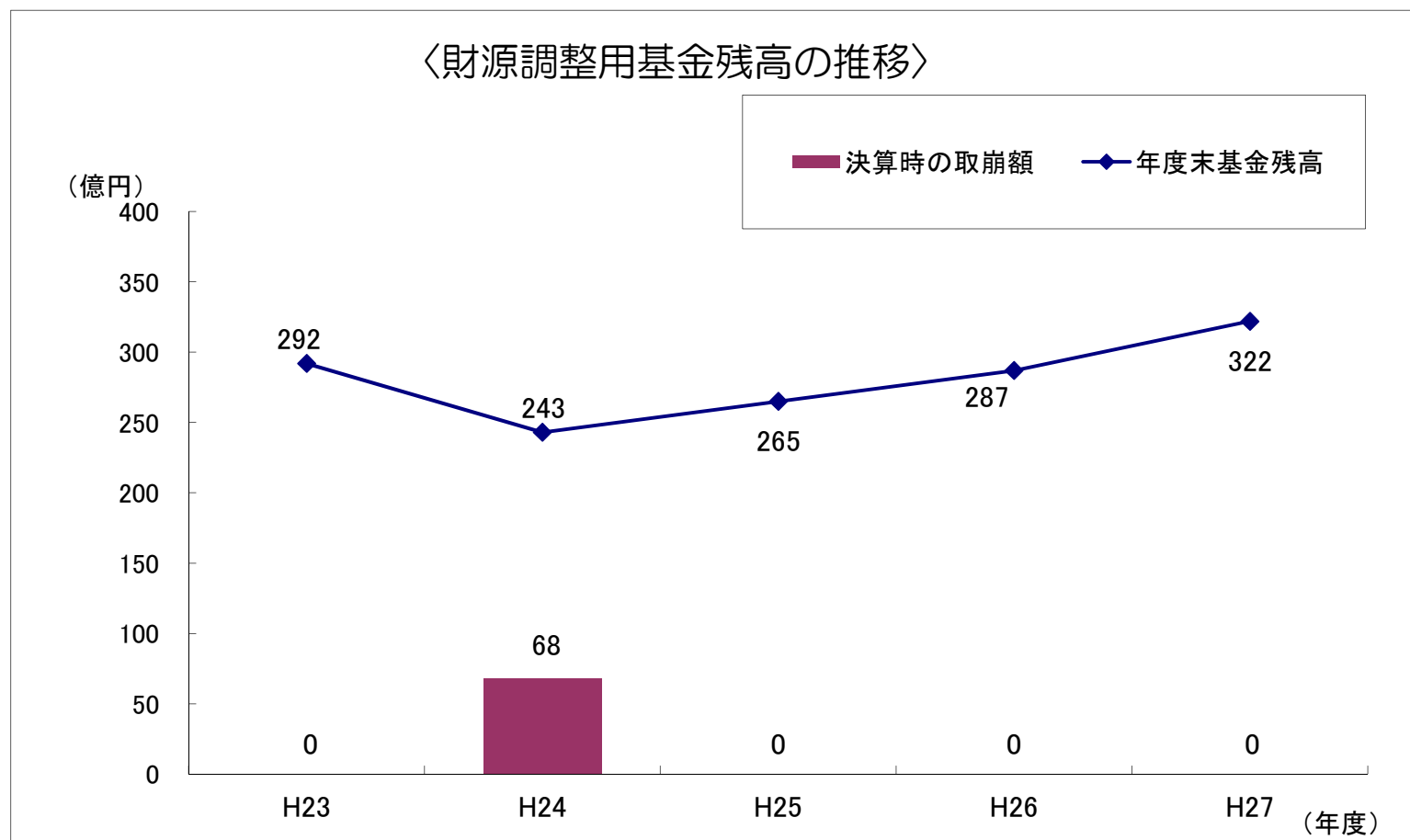
義務的経費及び義務的経費比率の推移



扶助費及び福祉・医療関係繰出金の推移



基金の残高の推移



《23の特別会計》

- ・ 23会計のうち、公債償還、臨海部産業用地貸付、埋立地造成、土地取得の4特別会計が収支同額であり、残り19会計は黒字。
- ・ 埋立事業を清算するために、埋立地造成特別会計を、平成27年度限りで設置。

《5つの公営企業会計》

上水道、工業用水道、交通、下水道の4会計が黒字、病院は赤字

平成27年度公営企業決算状況（税込）

単位：百万円

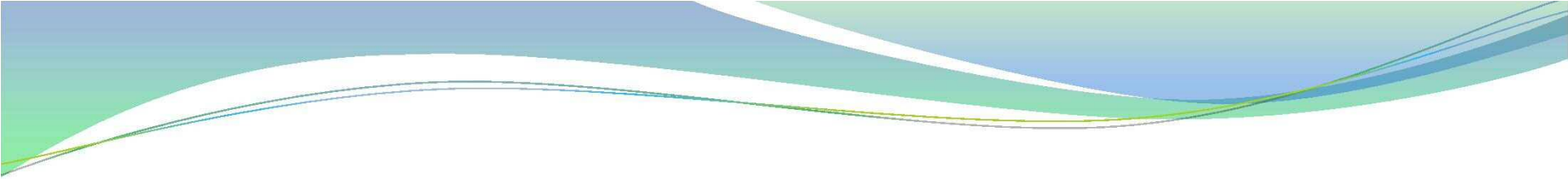
区分	上水道	工業用水道	交通	病院	下水道
損益収支	1,818	399	74	▲1,149	1,836
単年度実質収支	212	18	4	▲577	211
平成27年度末資金剰余	5,265	1,759	1,647	3,717	3,093

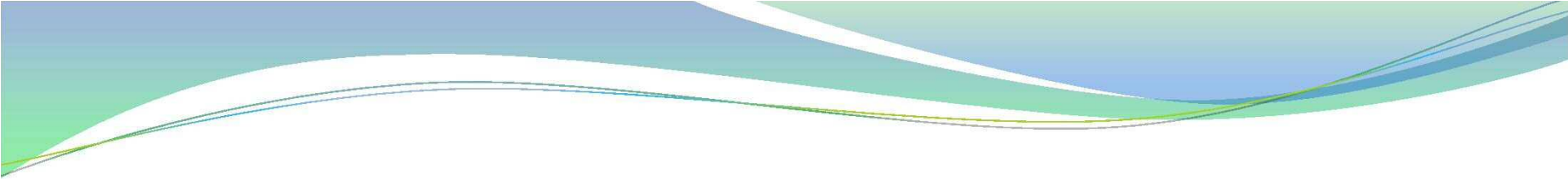


平成27年度決算特別委員会

第1分科会審査報告

報告者：白石一裕議員・西田一議員

- 
- 1. 戦略広報室の設置と民間プロデューサー力の活用について**
 - 2. 災害発生時における情報収集・救助活動について**



1. 戦略広報室の設置と民間 プロデュース力の活用について



【議員質疑の要旨】

- ▶ **北九州市は今、日本一住みやすく、子育てしやすいまちとして、マスコミ等で報道されている。**
- ▶ **民間企業では、統一したブランド意識のもと、広報の専門家が戦略的に情報発信をしている。**
- ▶ **本市でも、各局の垣根を超えた戦略的広報チームの設置と民間のプロデュース力の活用をすべきである。**



【市長答弁の要旨】

- 北九州市の都市ブランドを戦略的に情報発信することは、極めて重要であると認識している。
- 市政だよりや動画など多様な媒体を駆使することで、「50歳代から住みたいまち自治体ランキング1位」「生活天国ナンバーワン」など、情報発信の成果が現れてきている。
- 人員体制の強化や東京事務所の機能強化を進め、広告代理店等を活用して戦略的広報を進めていく。



【議員の要望】

- ▶ 膨大な情報を収集、発信するために、プロフェッショナルな部隊を創設すべきである。
- ▶ 情報発信のために効果的な予算を組むべきである。
- ▶ 市民が得意分野や好きな分野の情報を集めて、盛り上げてくれる「市民コミッショナー制度」の導入を検討してほしい。

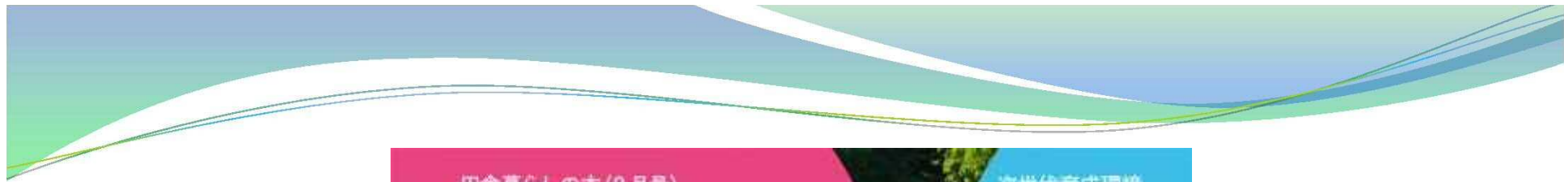


平成28年10月7日 北九州市東京事務所移転・開所式(千代田区有楽町 東京交通会館)



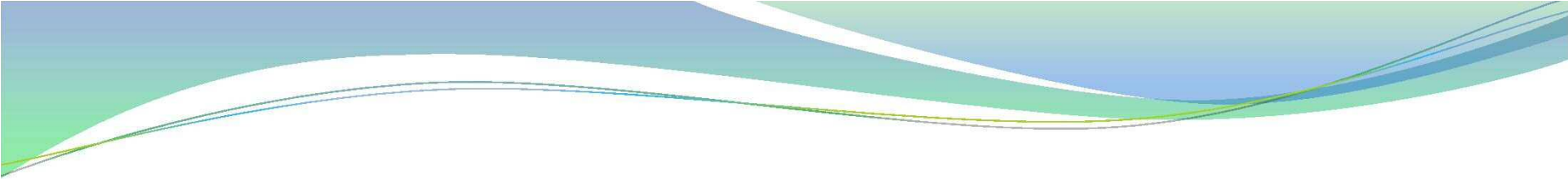
- 「**田舎暮らしの本**」8月号で、
「50歳から住みたい地方ランキング」1位に
選ばれました。

北九州市は、20年ほど前からシニア世代を意識した街づくりを目指しており、病院や介護施設が充実しているほか、再就職支援セミナーやシニア向けのお試し居住を実施するなど移住者の歓迎度も高く、生涯生き生きと暮らせる街だと紹介されました。



- **「女性自身」9月6日号**の記事で、「病院が多い」、「物価が安い」、「待機児童ゼロ」など、**シニアが住みやすく、女性や子どもにもやさしい「生活天国No.1」の街**であると紹介されました。

全国に向けて広報するとなると、ばく大な予算が必要ですが、こういった雑誌に取り上げられれば、費用はかけずに相当な宣伝効果が期待できます。



2. 災害発生時における情報収集 と救助活動について



【議員質疑の要旨】

- ▶ 平成27年度中における消防へリ「きたきゅう」の稼働実績と活動から見えてきた課題等について
- ▶ 災害時における小型無人機ドローンの導入について



【市長答弁の要旨】

- 本市の消防航空隊は、隊長以下10名で編成し、北九州空港を基地としてヘリコプターの高速性と機動性を活かした災害活動を行なっている。
- 平成26年4月1日より、平日日中運航体制から土日祝日を含めた通年日中運航体制に移行し、災害対応力の強化を行なっている。

【市長答弁の要旨】

- 平成27年中の災害出動件数は92件で、内訳は、火災55件、救助18件、救急17件、その他2件。この他、山岳救助や水難救助を想定した訓練飛行174件。





【市長答弁の要旨】

《災害救助や訓練から見えてきた課題》

- 低空で飛行するヘリコプターの騒音
- 障害物のない広い訓練場所の確保

《課題への対応》

- 騒音については、近隣住民に活動の趣旨を十分に説明し、ご理解をいただく。
- 訓練場所については、民間事業者を含めた土地所有者との情報交換などを通じて、適切に確保していく。



【市長答弁の要旨】

- 小型無人機ドローンは、持ち運びができ、GPS機能によりあらかじめ指定した経路を自動航行することや、手動により遠隔操作することも可能である。
- このような機能により、災害時に、人が容易に近づくことができない場所で速やかに被害状況を把握したり、行方不明者を捜索したりすることに利用できる。

【市長答弁の要旨】

- 総務省消防庁では、カメラや複合ガス検知器を積載した消防活動用ドローンを、さいたま市や千葉市に無償貸与し、10月から運用を開始。



千葉市消防局HPより引用
(総務省消防庁 無償貸与機)



【市長答弁の要旨】

- このような状況の中、本市でも大規模災害発生時に迅速に被害状況などを把握するため、ドローンを導入したい。
- ドローンを実際に運用する際には、落下や制御不能を防止するためのルール作り、機体を操作する隊員の養成、上空監視員やドローンからの映像を監視する人員の確保などが課題となる。
- ドローン導入に向けて、具体的な整備手法や課題への対応策について早急に検討を進める。



【議員の要望】

- ▶ 従来のプロペラ式だと、被災者が回転翼によって怪我をする恐れもある。
- ▶ スイスのある企業が開発したドローンは、球形であり、地面を転がったり、壁面に沿って飛んだりする。
- ▶ 地元のゼンリンは、事業推進のためのドローンに関する専任組織を設置したようである。
- ▶ 企業との連携も含めて、早期の導入を要望する。



平成27年度決算特別委員会

第2分科会審査報告

報告者：本田忠弘議員・長野敏彦議員



**1. 子どもたちが集う公園整備
について**

**2. 保育士の職場環境の改善に
ついて**



1. 子どもたちが集う公園整備 について



【議員質疑の要旨】

- ▶ **遊具による子どもの事故、遊具の耐用年数、設置基準変更などにより、公園から子ども向け遊具が減ってきている。**
- ▶ **地域のニーズを掘り起こし、遊びながら自然に運動能力を伸ばすことのできる遊具を設置し、子どもたちが集う公園整備を進めるべきであるが、見解は。**

【市長答弁の要旨】

- これまで、子どもが楽しく遊び、コミュニケーションを深めるとの視点から、「ブランコ」「すべり台」「すなば」など、多くの遊具を設置してきた。
- 現在、市内には1,706箇所の公園に、6,931基の遊具が設置されている。

【市長答弁の要旨】

公園整備事業

- ①整備から30年以上経過した
古い公園の再整備

【市長答弁の要旨】

①公園再整備事業

(開設から概ね30年以上経過した公園の再整備)

鷹ノ巣公園
(八幡西区)
H19年再整備

着工前



着工後

【市長答弁の要旨】

公園整備事業

②乳幼児向けに、母親の意見を取り入れて整備を行う

「子育てに配慮した公園整備事業」

【市長答弁の要旨】

②子育てに配慮した公園整備事業 (乳幼児コーナーの整備)



青葉台中央公園
(若松区)



南方二丁目公園
(小倉南区)

【市長答弁の要旨】

公園整備事業

③幼児や学童が家族で楽しめる
複合遊具などを設置する

「親子ふれあい公園づくり事業」

【市長答弁の要旨】

③親子ふれあい公園づくり事業 (家族で遊べるコーナーの整備)



高炉台公園
(八幡東区)



洞北緑地
(八幡西区)

【市長答弁の要旨】

複合遊具の例



幼児用

児童用 中型



児童用 大型



【市長答弁の要旨】

公園整備事業

④地域の方々との話し合いで、校区内の複数の公園を再整備する

「地域に役立つ公園づくり事業」

【市長答弁の要旨】

④地域に役立つ公園づくり事業

(市民参加で、身近な公園をまとめて再整備)

畠田一丁目公園
(若松区)
H27年再整備



着工前



着工後

【市長答弁の要旨】

子どもの利用の多い公園の整備について

- 子どもたちの利用の多い公園には、他の公園よりも子ども向け遊具を多く設置するなど、地域ニーズに沿った公園づくりを進めている。



【議員の要望】

- ▶ **学校だけでなく、公園で遊ぶことも体力向上につながる。**
- ▶ **子どもの声をよく聞き、若い世代が多い地域には子育て向けの遊具を優先的に設置するなど、配慮いただきたい。**



2. 保育士の職場環境の改善 について



【議員質疑の要旨】

- ▶ **保育士の確保および職場への定着に必要なことは、保育以外の業務の負担を軽減し、職場環境の改善を図ることが課題。**
- ▶ **保育士の職場環境の改善のため、ICT（情報通信技術）の活用などにより、保育以外の業務負担を軽減すべきと考えるが、本市の見解は？**

【市長答弁の要旨】

保育士の処遇改善

- 「子ども・子育て支援新制度」
平成25年度比で**約7%改善**
- 「一億総活躍プラン」
平成29年度に**2%相当の処遇改善**に加え、ベテラン保育士には更に、
月額4万円の改善を検討



【市長答弁の要旨】

～ 市単費の助成 ～

- 管理職手当などの給与改善費

～ 本市独自の取り組み ～

- 「予備保育士雇用費補助」など

◎民間保育所に対し、約10億円の運営補助
(平成28年度)



【市長答弁の要旨】

保育所の業務効率化

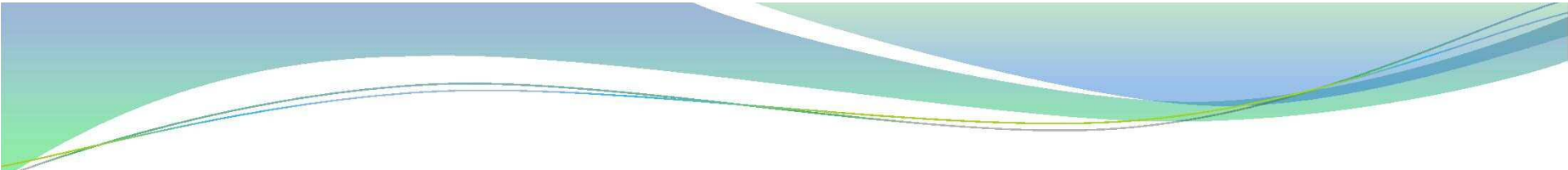
- これまで、事務職員の雇用費として、
年間90万円を上限に補助を行ってきた。
- 平成28年度から、書類作成等の事務作業
のICT化を推進するため、
1所あたり100万円を上限に、ICT
導入費用の一部を補助する制度を実施。

新・保育所等における業務効率化推進事業 保育所等におけるICT化の推進

【事業目的】

ICTの活用により、保育以外の業務負担を軽減することで、保育士の勤務環境の改善を図るもの





新・保育所等における業務効率化推進事業 保育所等におけるICT化の推進

【事業内容】

- **補助上限額 100万円（1ヶ所）×5所=500万円**
- **保育所等における保育士の業務負担軽減を図るため、負担となっている保育以外の業務（園児台帳、指導計画、保育日誌の作成など）について、保育の質の向上に配慮し、ICT化推進のための保育業務支援システム購入にかかる必要な費用を支援する。**

新・保育所等における業務効率化推進事業 保育所等におけるICT化の推進

【補助対象】

- ・民間事業者が運営する
保育所等

※地域型保育事業所、
認定こども園（幼保連携型）
を含む。

※公立保育所は、補助対象
から除外。





【市長答弁の要旨】

具体的なICT化の内容

- 園児の氏名・住所、登降園状況や既往症、かかりつけ医師などの情報を管理する「園児台帳」にICTを活用。
- 「園児台帳」と「指導計画」や「保育日誌」を連動させる。

【市長答弁の要旨】

ICT導入による効果

- 保育士の業務負担の軽減
- 保育士や保護者に必要な情報を効果的・効率的に活用可能
- 保育の質の向上の効果が期待できる





【議員の要望】

- ▶ 保育現場では、時間内に保育日誌も書けないほど忙しいのが現状のようである。
- ▶ ICT化は現場も望んでいることである。
- ▶ 今回、初めてICT化推進に予算がついた。
- ▶ 保育園等の数が多いことはわかっているが、可能な限り早急に対応していただきたい。



【子ども家庭局長答弁の要旨】

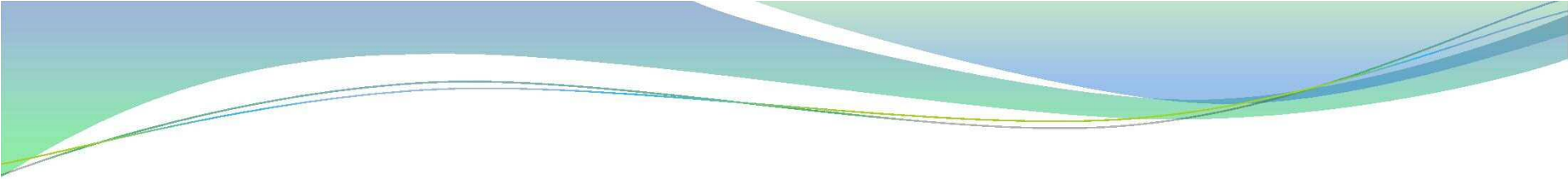
- ICT化は、国の予算と連動して進めており、今年が初めての取り組みである。
- 現場の声は大変良いという評価である。
- 財政部署とも調整するが、できるだけ優先度を上げて、全民間保育所に行き渡るようにしたい。



平成27年度決算特別委員会

第3分科会審査報告

報告者：藤沢加代議員・木下幸子議員

- 
- 1. 普通教室へのエアコン整備に伴う夏休みの短縮について**
 - 2. 門司港レトロ地区と若松のにぎわい創出について**



1. 普通教室へのエアコン整備 に伴う夏休みの短縮について

普通教室にエアコン整備

総事業費
63億円



室外機

中学校は今夏完了!!



日当たりが良く
冷えにくい窓側
にシェード
小倉南区K中学校

学校からの声

集中力や
学習意欲が高まった

小学校は、今年度中に
41校へ設置完了予定。
全小学校への設置完了は、
再来年度を予定。

1/3が
設置完了
予定



夏休みの
短縮は？




【教育長答弁の要旨】

- 次期学習指導要領の改訂を間近に控え、
教育課程全体の見直しが必要。
- 有識者、学校関係者、保護者代表で構成する
検討会議で議論を深めるために、アンケート
調査を実施（教職員、保護者対象）し、
方向性を定める。



2. 門司港レトロ地区と若松の にぎわい創出について



若松・門司港の
にぎわいづくり

平成30年末

若戸大橋

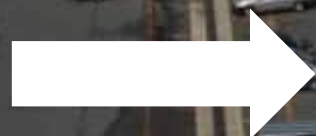
トンネルの無料化



地域の様々な動きを
積極的に支援



観光客のおもてなし 受け入れ環境の充実



若松区の魅力づくり

企業にとっての利点

- ⇒ 物流コストの軽減
- ⇒ 事業活動の活性化
- ⇒ 通勤の利便性の向上
- ⇒ 雇用の確保





次世代エネルギー
産業拠点の形成



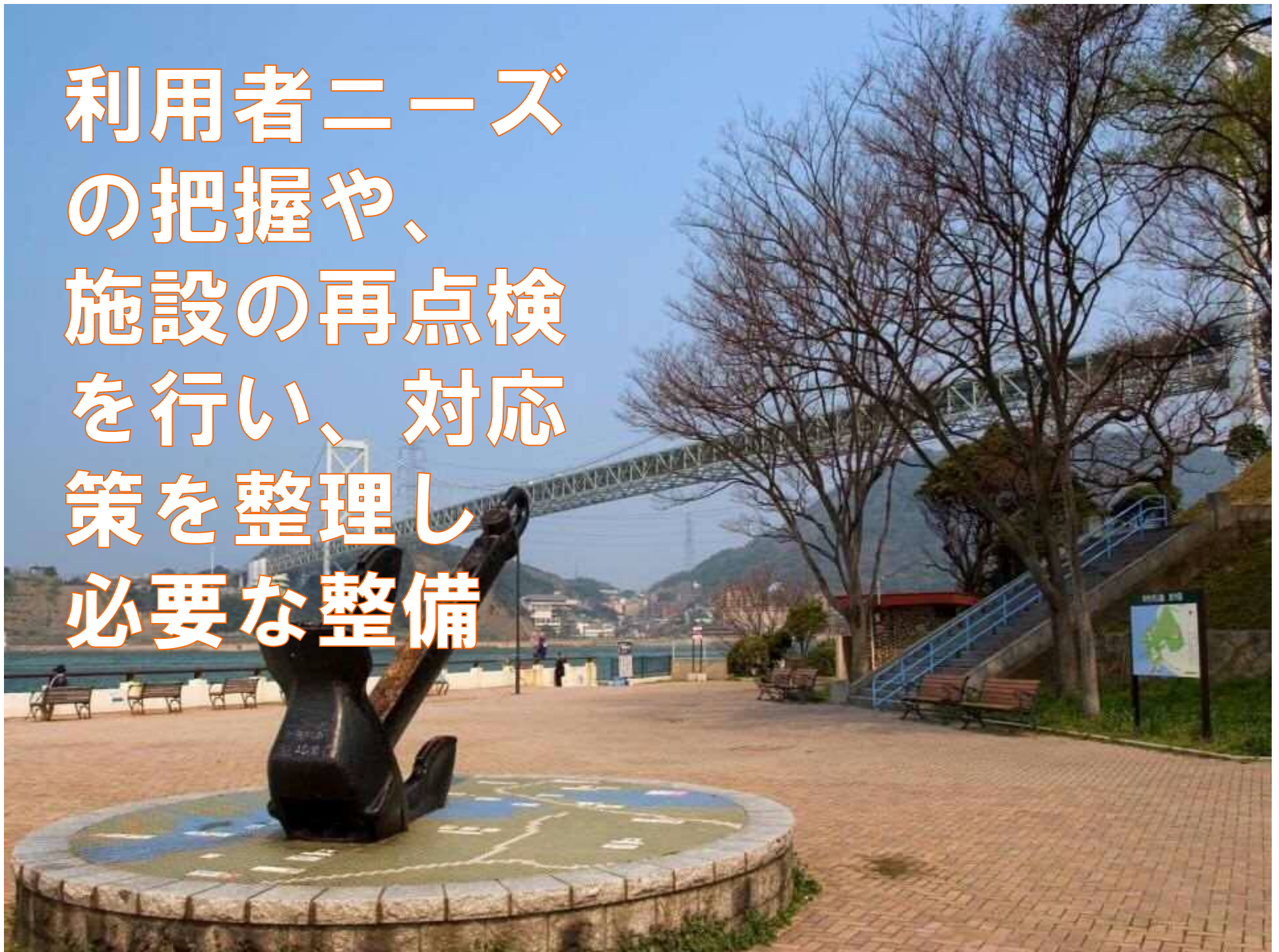
市全体の活性化へ

門司港




レトロ地区から
めかり地区への遊歩道等の整備

利用者ニーズ
の把握や、
施設の再点検
を行い、対応
策を整理し
必要な整備





レトロ口地区周辺
の
にぎわいづくり



港湾活動にも配慮した
まちづくりが必要



土地利用の再編は・・・

物流機能・レトロ 観光・都市的利用 のすみ分け



土地利用規制の
見直しを含めた
対応を検討